

みずほCustomer Desk Report 2017/12/15号(As of 2017/12/14)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	112.81
TKY 9:00AM	112.77	1.1836	133.47	GBP/USD	1.3410
SYD-NY High	112.88	1.1863	133.76	AUD/USD	0.7680
SYD-NY Low	112.07	1.1771	132.25		1.3394
NY 5:00 PM	112.39	1.1778	132.39		1.3431
NY DOW	24,508.66	▲ 76.77	日本2年債		-0.1600
NASDAQ	6,856.53	▲ 19.27	日本10年債		0.0500
S&P	2,652.01	▲ 10.84	米国2年債		1.8131
日経平均	22,694.45	▲ 63.62	米国5年債		2.1376
TOPIX	1,808.14	▲ 2.70	米国10年債		2.3484
ソコ日経先物	22,600	▲ 105	独10年債		0.3095
ロンドンFT	7,448.12	▲ 48.39	英10年債		1.1730
DAX	13,068.08	▲ 57.56	豪10年債		2.5410
ハンセン指数	29,166.38	▲ 55.72	USDJPY 1M Vol		6.44
上海総合	3,292.44	▲ 10.60	USDJPY 3M Vol		7.44
NY金	1,257.10	8.50	USDJPY 6M Vol		8.03
WTI	57.04	0.44	USDJPY 1M 25RR		-0.58
CRB指数	184.22	0.85	EURJPY 3M Vol		7.78
ドルインデックス	93.64	0.21	EURJPY 6M Vol		8.14

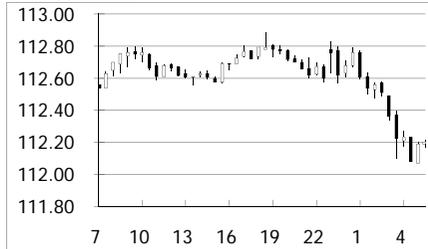
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月14日	9:30	豪 雇用者数変化/失業率	11月 61.6K/5.4%	19.0K/5.4%
	11:00	中 小売売上高/固定資産投資/鉱工業生産(年初来前年比)	11月 10.3%/7.2%/6.6%	10.3%/7.2%/6.6%
	17:30	独 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)速報	12月 63.3/55.8/58.7	62.0/54.6/57.2
	18:00	欧 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)速報	12月 60.6/56.5/58.0	59.7/56.0/57.2
	21:00	英 BOE金融政策委員会 政策金利	- 0.500%	0.500%
	21:45	欧 ECB理事会 主要政策金利	- 0.00%/0.25%/-0.40%	0.00%/0.25%/-0.40%
	22:30	米 小売売上高(前月比)速報	11月 0.8%	0.3%
	22:30	欧 ドラギECB総裁 記者会見	「大規模金融緩和、依然必要」	
	23:45	米 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)速報	12月 55.0/52.4/53.0	53.9/54.7/-

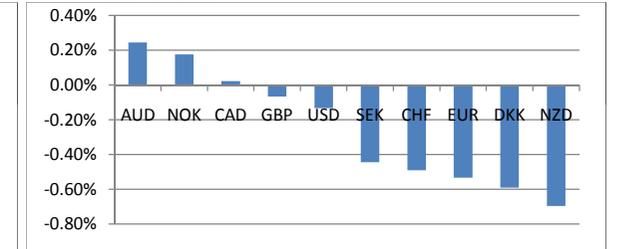
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月15日	8:50	日 日銀短観	第4Q -	-
	22:30	米 ニューヨーク連銀製造業景気指数	12月 18.7	19.4
	23:15	米 鉱工業生産(前月比)	11月 0.3%	0.9%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.00-113.50	1.1730-1.1800	132.00-133.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外時間のドル円は、ECB・BoEが金融政策の現状維持を決定しノーイベントとなる中、好調な米小売売上高にも反応しない動意薄の展開となったが、ルビオ共和党上院議員が米税制改革法案に反対する可能性が報じられたため、これを嫌気したドル売りが広がり、ドル円は112円台前半まで値を下げた。本日は、米税制改革法案への不透明感が残る中発表される経済指標も少なく、来週のイベントを控えて方向感に乏しい展開を予想する。

東京	朝方のドル円は前日海外時間の弱い米11月コアCPIやFOMC後のドル売りの流れを引き継ぎ一時112.54まで下落した後、小幅に反発する展開となり112.77でオープン。目立った材料のない中で112.70台での動意に乏しい推移が続いた後、日経平均株価の軟調推移等を背景に上値重く推移し112.56まで下落。しかし、この水準から一段と下値を試す展開とはならず方向感に欠けるもみ合い推移が続く。112.69レベルで海外へ渡った。豪ドルは対ドルで0.7631レベルでオープン。豪11月雇用統計において雇用者数変化が+61.6Kと市場予想(同+19.0K)を大きく上回る結果となると豪ドル買いが進行し、一時0.7675まで上昇。その後も底堅い推移が継続し、0.7661レベルで海外へ渡った。(東京 15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、112.69レベルでオープン。米税制改革法案を巡り、上下院が法人税率21%でまとも、米大統領がクリスマス前の年内成立を目指す意向を示したことで、来週早々にも成立するとの観測が浮上する中、米金利が上昇し、112.88まで上昇。112.67レベルでNYに渡った。ユーロは1.1821レベルでオープン。欧12月総合PMI速報値が58.0(予想:57.2)と、ほぼ7年ぶりの水準に上昇。特に、仕入れを示す指数は52.3に上昇(前月:52.1)し、1998年3月以来の高水準となる等、購買担当者の景況感の改善が示唆され、1.1844まで堅調に推移。1.1832レベルでNYに渡った。ポンドは1.3427レベルでオープン。英11月小売売上高指数が、好調だった「ブラックフライデー」販売促進活動を背景に前年比1.6%上昇と予想の0.3%上昇を大きく上回ったことから1.3467まで買われる。しかし、EU離脱法案の修正が可決したことを受け、英EU離脱担当相が「交渉期間を縮める」と発言すると、1.3410まで反落。その後、英中銀金融政策委員会が全会一致で金利据え置きを決定したが、織り込み済みだったため反応は限定され、1.3434レベルでNYに渡った。(ロンドン 17:00) 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	昨日のFOMCでは財政刺激が織り込み済みであるのに、来年は前回同様3回の利上げを見込んでいることがハト派と取られ、ドル売りが強まったものの、その後はECBを控えたドル円は112.56-88での狭いレンジでの推移が続く。112.67レベルでNYオープン。朝方は米11月小売売上高が予想を大きく上回り、前回分も上方修正されたことから、ドル円は15銭程度上昇するが、ドラギECB総裁の記者会見を控えた反応は一時的なものになる。ドラギECB総裁の記者会見では、インフレに対する見通しが弱く、スワップ予想も2018年は1.2%から1.4%に上方修正されたものの、2019年は1.5%に据え置かれるなど、ECBのターゲットである2%には程遠く、ユーロが下落する展開にドル円は112.83まで戻す。その後は112.70付近での推移が暫く続くが、共和党上院議員のルビオ議員が「子供控除が今のまま低ければ支持しない」と話したことから、来週早々に可決すると思われていた減税法案が難航するとの見方に、堅調に推移していた株式市場が反落し、米金利も低下する展開に、ドル円は112.07まで下落する。終盤に掛けては、調整からじり高で推移し、112.39レベルでクロスした。一方、ユーロはECB理事会を控えた狭いレンジでの推移が続く。1.1832レベルでNYオープン。朝方は、ECBスワップ予想で来年のGDP予想が1.8%から2.3%へ大きく上方修正されたことから1.1863まで上昇するが、ドラギ総裁のインフレ見通しに対するハト派は見方にユーロ売りが強まり、1.1771まで反落する。午後にはルビオ議員の発言を受け米金利が低下する展開に1.1801まで戻し、1.1778でクロスした。(NY 井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 岡本・森谷